

5 活用方法選択型教員配置事業（選択型こまやか教育プラン）

(1) 事業内容

県教委から市町村へ配分した配置教員数について、学校現場の要望・教育課題に基づき各市町村教育委員会の裁量により小・中学校に配分し、事業メニューの中から学校長が、選択した活用方法により実施されるよう教員配置し、少人数教育を推進する。

県から市町村へ教員数配分 市町村（学校）が活用方法選択 県から学校へ教員配置

(2) 事業メニュー及び学年

ア 事業メニュー（平成 20 年度）

		小学校30人規模 学級編制	学習習慣 形成支援	少人数学習 集団編成	児童生徒 適応指導	その他 教育課題対応
事業内容		・学級規模を小さくし、個に応じたきめ細かな指導を行い、学習習慣・生活習慣の定着を図る。 (35人基準)編制	・小学校1・2学年に非常勤教員を配置し、状況に応じ複数教員によりきめこまかな指導を行い、学習習慣・生活習慣の定着を図る。	・習熟度に差が生じやすい算数・数学・英語の教科で、30人以下の学習集団を編成し、きめ細やかな指導を行い、基礎学力の定着・学力向上を図る。	不登校、不適応等児童生徒に対する適応指導、支援を行う。	・発達障害児童等に対する教育指導、支援を行う。
小 学 校	小1	協働事業	T・T 学習指導 生活指導 給食指導	少人数授業	中1ギャップ対応	通級指導 個別指導対応 等
	小2					
	小3					
	小4					
	小5					
	小6					
中 学 校	中1					
	中2					
	中3					

小学5・6年の30人学級編制（協働事業）に係る市町村任意協力金は、従来の1/2。

イ 事業実施経過

（数字は学年を示す）

事業名	学校区分	教科	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
30人規模 学級編制 (35人基準)	小学校	すべての教科	1	1・2・3	1～6 4・5・6は 希望市町村	1～6 5・6は 希望市町村	1～6 5・6は 希望市町村	1～6 5・6は 希望市町村	メ ニ ー 方 式
学習習慣 形成支援	小学校	すべての教科	1	1・2・3	1・2・3	1・2	1・2	1・2	
	中学校	中1ギャップ対応	-	-	-	-	1	1	
少人数学習 集団編成	小学校	算数	4・5・6	4・5・6	4・5・6	3・4・5・6	3・4・5・6	3・4・5・6	
		国語	4・5・6	4・5・6	4・5・6	4・5・6	5・6	5・6	
	中学校	数学	1・2・3	1・2・3	1・2・3	1・2・3	1・2・3	1・2・3	
		英語	-	3	2・3	1・2・3	1・2・3	1・2・3	